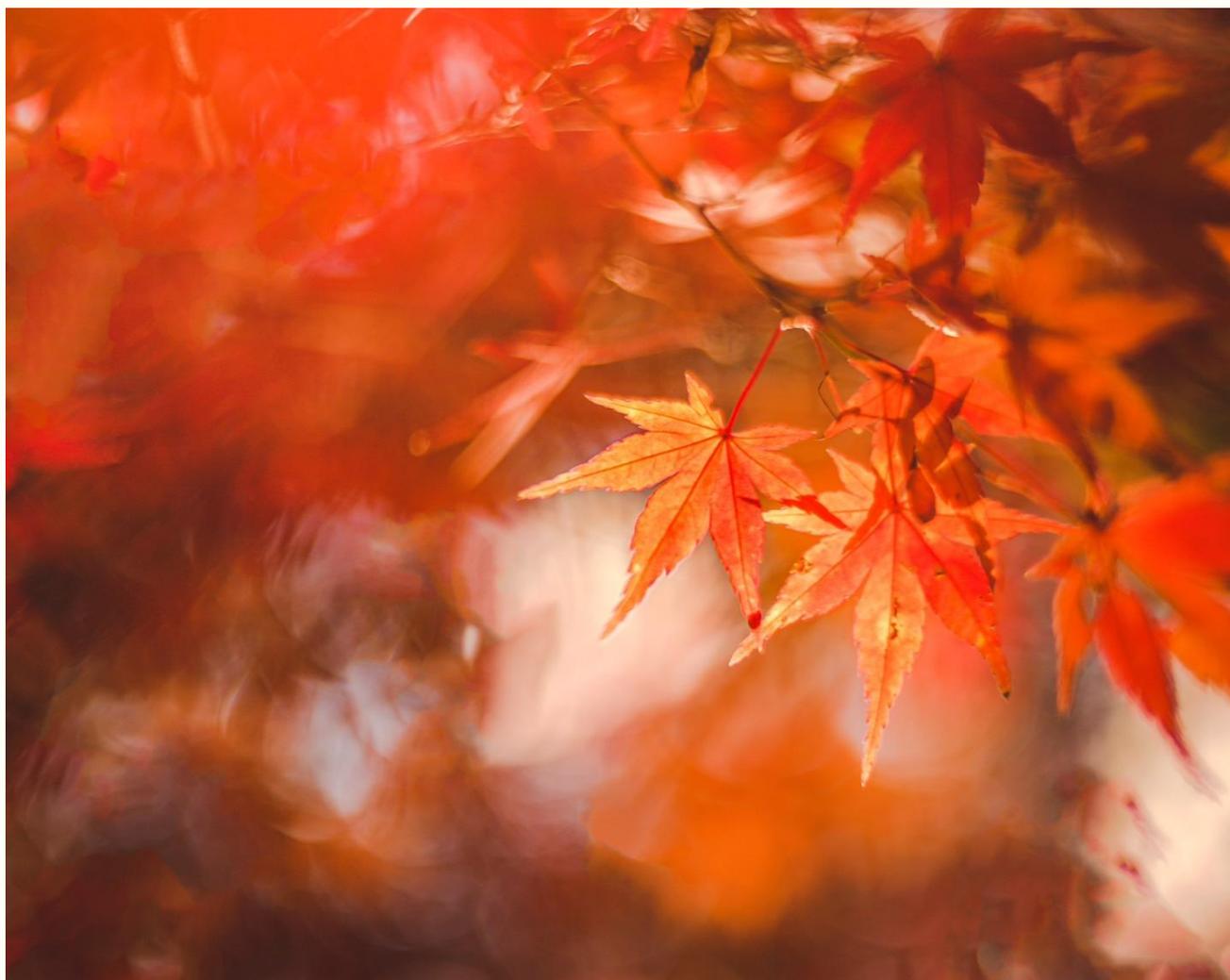


りはる - Re 春 -



訪問リハビリ テーションの ご案内

当院では、退院後の患者さんがより自立した日常生活を過ごせるよう、経験豊かなスタッフによる訪問リハビリテーションを提供しております。確かな技術ときめ細かなサポートで、ご利用の方よりご好評を頂いております。当院に入院歴のない患者さんもご利用頂けますので、ぜひご相談ください。

【対象範囲】東淀川区・淀川区内で、病院から半径3km圏内

【提供日時】月～土 9:00～17:00（日・年末年始を除く）

【お問合せ先】淀川平成病院 地域連携室

季節の献立「敬老の日」のお祝い御膳



敬老の日の昼食には《お祝い御膳》を提供しました。天ぷらやお赤飯に上用饅頭が付くなど、とても華やかな内容です。淀川平成病院には職員食堂があり、職員は毎日患者さんと同じ献立の食事をいただきます。リハビリやケアの中で「今日のご飯は何でしょうね」「昨日のあれ美味しかったですね」と、患者さんとの会話が弾むのも当院ならではの光景です。みんなに嬉しい美味しい食事は、患者さん同士でも、患者さんと職員でも、自然なコミュニケーションを取るきっかけになっています。

2023年度 4月～9月当院実績

在宅復帰率	重症度割合	重症患者改善割合	アウトカム評価
84.0%	53.0%	60.3%	60.9

アウトカム評価

入院中に効果的なリハビリテーションが行えたかどうか、特定の指数でアウトカムを評価しています。医療保険の基準では、**40以上**であることが求められています。**短い入院期間で生活機能が向上するほど、高い**指数が出るようになっています

アートな リハビリテーション



当院では、日常生活機能を取り戻す訓練の一環として、塗り絵や折り紙などに取り組んで頂く場合があります。患者さんによって取り組む作品は様々ですが、大作が生まれることもしばしばです。この夏は、ひまわりをテーマにした素晴らしい作品ができました。

作者の患者さんと一緒に、作業療法士や看護師が作品を鑑賞している様子がグループのYoutubeで公開中です。また、グループの作業療法士による身近なものを利用した、作業活動向けアイテムの作り方も公開しています。ぜひご覧下さい。

淀川平成病院の作品紹介



OTによる作業活動
アイテムづくり紹介



早期に生活能力を取り戻す！

装具歩行訓練

当院では、患者さんの安全に十分配慮しながら、早期の歩行訓練に取り組んでいます

脳卒中治療のガイドラインでは、早期からの歩行訓練は、早期のADL向上と社会復帰に効果があるとされています。しかし、重度の運動麻痺のある患者さんにとって《歩く》ことは簡単なことではありません。そこで行われるのが《装具》（長下肢装具）による歩行訓練なのです。



長下肢装具



装具を付ける効果

- 麻痺側の足を支えてくれるので歩く負担が軽減する
- 関節の動きが制限されて運動制御が単純化されるので歩きやすい



装具を付けて、まず立った時の姿勢を整えます。



理学療法士（PT）が後から支えて歩行をサポート。



病棟内を一周ぐるっと歩きます。1, 2, 1, 2と歩行のリズムを思い出しながら…。



装具を調整する義肢装具士

当院では、患者さんの疾患や状態に応じた適切な装具を作成する《装具診（察）》を行っています。装具診では、医師・理学療法士・作業療法士・義肢装具士などが関わり、それぞれの専門的な視点で意見交換をしながら患者さんにとって最適な装具を作成・調整していきます。

装具はただ患者さんの体を支える道具ではなく、生活の自立を支援するいわばパートナーです。そのため、患者さんの身体的な情報だけでなく、退院後の生活環境といった社会的な背景も考慮して作成する必要があります。

生活の主体である患者さんは勿論のこと、その生活を見守るご家族もまた、重要な情報を持っている装具診の大切なメンバーです。退院までにどんなことが出来るようになりたいか、退院後の生活に必要な事は何か等を共有しながら、一緒に目標達成に向かって取り組んでいます。

準備運動で美味しく食事

美味しく安全にお食事を召し上がって頂くために、当院では”食事の準備運動”として嚥下体操を行っています。耳なじみの良い軽快な音楽と共に体を動かすことによって筋肉の緊張をゆるめ、飲み込み時のムセを防ぐ効果が期待できます。

簡単でも
毎日やれば
効果は絶大！



より良い医療を
目指して

私たちは、

6つの取り組みを推進しています

☑ 身体抑制は
廃止します



☑ 適切で
楽しい食事を
提供します



☑ 積極的に
離床します



☑ 「自分でトイレ」
を応援します



☑ 「口から食べる」
を応援します



☑ 多剤内服には
させません



目からウロコの 介護・技術講習会

もう少しうまく介護ができれば...
介護していると腰が痛い...!
もう少しと薬にできないの...?

そんなお悩みのあなたへ!

動作観察のフロが指導する
介護技術、知識を紹介します。
日頃の介護方法の疑問や問題解決
にお役立てください!

参加無料
定員50名様

日時：令和5年11月5日(日) 13時~16時
場所：東淀川区民ホール(東淀川区豊新2-1-4)
申込み方法：FAXまたはメール ※チラシ裏面参照

主催：公益社団法人大阪府理学療法士会 後援：大阪市東淀川区
問い合わせ先：東淀川区理学療法士会 higashiyodogawa.pt@gmail.com

東淀川区

リハビリ公開講座 転倒予防と運動

東淀川区の各地域(下表参照)で、リハビリの先生が
転倒予防のお話と運動のアドバイスを伝えます!
どの会場にご参加いただいても構いません!

12月 2日(土)	大桐ウェルファーセンター (大桐3-5-45)	柴垣信介(訪問看護 ステーション淀川ひまわり)
12月10日(日)	東淡路地域交流センター (東淡路1-4-49 図書館建物の隣)	仲村 亮 (淀川キリスト教病院)
令和6年 1月13日(土)	井高野福祉会館 (北江口2-4-8)	山崎孝大(訪問看護 ステーション新街)
1月20日(土)	水仙の家 3階 (小松1-12-10)	柴垣信介(訪問看護 ステーション淀川ひまわり)
1月28日(日)	ビハラーこのみ園 (菅原7-15-14)	東郷理靖 (淀川平成病院)

時間 すべての会場で 10時から11時30分

申込み 各開催日1週間前までに ①お名前 ②参加会場 をお知らせください

メール → higashiyodogawa.pt@gmail.com ※右上QRコード
電話・SMS → 070-5659-2517 ※つながりにくい場合、折り返しご連絡いたします
FAX → 06-6990-8208 ※ご連絡先電話番号も記載して送信をお願いします

主催：東淀川区理学療法士会 協力：東淀川区・北部・西部・中部 地域包括支援センター

《各種講座のご紹介》

11月5日(日)

介護に携わっている専門職の方を対象とした、介護に役立つ力学的知識やベッドから移乗までの技術等を学ぶ実技講習会

12月2日(土)~1月28日(日)

患者さんやご家族を対象とした、転倒予防と運動に関する講習会

当院の理学療法士が講師や技術指導などで参加致します。多くの方のご参加をお待ちしております。

外来
受付時間

午前 8:30~11:30 (月~土)
午後 13:30~16:30 (月~金)

休診日

土曜PM・日曜祝日
年末年始



医療法人 康生会

淀川平成病院

06-6326-7100

yodogawahp.jp info@yodogawahp.jp

〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島6丁目9番3号